臺灣日日新報
本日四頁

大東亞戰必勝に總力
有難き御沙汰を賜はる
滿洲國皇帝陛下

【新京三十日發同盟】滿洲國皇帝陛下には三十日省長會議出席の各省長を帝宮に召させられ長時間に亘つて各省長より省政狀況の奏上を御聽取遊ばされたが更に午後二時武部總務長官並びに阮國務總理大臣を帝宮に召させられ國家は一切大東亞戰爭完遂の目的に集中國民をして大東亞戰爭必勝の信念を[illegible]必勝の信念國內を鞏固ならしめ以て前線將兵をして後顧の憂ひなからしめるの信念を堅持せしめよ

との御言葉の有難き御沙汰を賜はり、恐懼退下した武部長官並びに阮國務總理大臣は直ちに省長會議席上この有難き御言葉を傳達したが[illegible]止、諸君は擧げて親邦日本の戰力增强に寄與せしめよと大東亞戰爭完遂に御軫念あらせられたる有難き御沙汰を賜はり出席の各部大臣並びに省長一同一段の努力を以て聖旨に副ひ奉らんことを誓つた

武部長官報告

皇帝陛下におかせられては本日午後二時總務長官及び國務總理大臣を帝宮に召させられ左の通り御沙汰あらせられたるにつき茲に謹んで傳達致します、諸官は宜しく精勵恪勤、至誠奉公以つて聖旨に副ひ奉るやう努力されんことを切望します

朕各省長の政務の奏上を聽き昨年一年間の努力に依り克く省行政の成績を擧げたるを知り深く滿足す、就いては朕の望のある所を次の如く各省長に傳達せよ

一、官民をして日本の大東亞戰爭の[illegible]を徹底せしめ[illegible]信仰の昂揚を圖るべし

二、日滿一德一心民族協和の精神[illegible]

三、官吏をして自發的に[illegible]せしめ以て行政の[illegible]を圖るべし

四、省長は省政に關し人民の實情に就き[illegible]し誠心に[illegible]して率先範を垂れ人民をして克く信頼せしめ安心より喜んで服從せしむる如くせよ

五、人民をして第一線將兵と[illegible]の苦勞を十分に有せしめ克く中央の示す國策方針に從ひて行動する如く指導せよ

六、國家は一切大東亞戰爭完遂の目的に向つて集中し凡ゆる手段を盡しこれを確實に施行せよ

七、國民に持たしむべき信念

（一）大東亞戰爭必勝の信念

（二）[illegible]必成の信念

（三）國民精神を昂揚し國內を鞏固たらしめ以て前線將兵をして毫も後顧の憂ひなからしむるの信念

以上の要綱を確實に施行し以て大東亞戰爭の完遂大東亞共榮圈の確立を達成すべし、斯くの如き盤石の信念を以てせば我國の理想は必ず達成し得べきものなり

時局緊急の經費計上
敵產處理へ特別會計
追加豫算、藏相の說明

【東京電話一日】の衆議院豫算總會に於ける賀屋藏相の追加豫算說明要旨は次の通り

昭和十七年度歲入歲出豫算追加第一號に計上した金額は歲入一億四千七百餘萬圓、歲出四億六千百餘萬圓で差引歲入不足額三億一千九百餘萬圓は[illegible]の歲入金額を以て支辨する所存である

歲入追加額は經常部一億一千三百餘萬圓、臨時部三千五百餘萬圓であり、歲出追加額の內譯は經常部[illegible]六千餘萬圓、臨時部四億[illegible]百餘萬圓でその重要なる事項を擧げれば

內務省所管 警察費等補助の增加 一千九百餘萬圓

大藏省所管 臨時軍事費特別會計繰入の增加 九千七百餘萬圓、特殊財產資金特別會計資金繰入 一億圓

農林省所管 肥料供給確保施設補助金 一千餘萬圓

商工省所管 支那棉花輸入價格調整等補助 三千五百萬圓、[illegible]原料補給金 一千餘萬圓

遞信省所管 俸給の增加 二千九百餘萬圓

厚生省所管 軍事扶助費增加 一千萬圓

等であつて何れも時局に鑑み本年度內に於て緊急缺くべからざる經費を計上したものである、尙今次の[illegible]は[illegible]特別會計へ繰入れる事にしてゐる、右の追加豫算額を第八十一回帝國議會までに成立した金額に加へれば昭和十七年度歲入八十九億八千四百餘萬圓、歲出九十三億一千七百餘萬圓となる、昭和十八年度歲入歲出總豫算追加第一號に計上した金額は歲入歲出共に二十三億四千五百餘萬圓で

歲入追加額は經常部十五億二千百餘萬圓、臨時部八億二千四百餘萬圓[illegible]

[illegible]

特殊財產資金豫算
歲入豫定額五億餘萬圓

【東京電話】政府は大陸及び南方作戰地域において接收又は管理下に收めた敵產の一元的處理を行ひ戰力增强の要請に資するため今次議會に特殊財產資金特別會計法案を提出、賀屋藏相は三十一日の衆議院豫算總會において「特殊財產資金豫算」の說明を行つたが同特別會計は左の如く運用される

一、大陸及び南方敵產の統一運營を行ふため特殊財產資金を設け今議會提出の昭和十七年度一般會計追加豫算より一億圓を繰入れてこれに充當し必要に應じ今後年々一般會計より資金の繰入れを行ふ

[illegible]

決戰議會の面目發揮
戰力增强の決議案
衆院に注目の運動擡頭

【東京電話】議會第一日の[illegible]

【東京電話】決戰議會に臨む[illegible]衆議院は二十九日以降を[illegible]提出法案八十八件の審理、[illegible]貴族院は二十八日[illegible]

[illegible]

衆院豫算總會

【東京電話】三十一日の衆議院豫算總會は午前十時十分開會、賀屋藏相より追加豫算案の內容說明[illegible]

[illegible]

陸海軍の戰況報告

[illegible]

豫算外國庫の負擔たる契約

[illegible]

租稅收入の增加
十八億二千九百萬圓

[illegible]

完勝まで鋒を收めず
ヒトラー獨總統宣言

【ベルリン三十日發同盟】ヒ總統は三十日ヒ總統大本營からナチス政權獲得十周年記念宣言を發し歐洲文明をボルシエヴイズムの脅威に對して守護するドイツの崇高な使命を強調しあらゆる困難に耐へて最後の勝利まで戰ひ拔くドイツ國民の決意を披瀝した、宣言はゲツベルス宣傳相に依つて記念式場で代讀され、更にラジオを通じて全國に放送された、ヒ總統は先づ十年前ヒンデンブルグ元帥から「ドイツ指導」の責任を委ねられた當時を回顧してその當時ヴエルサイユ體制の下にドイツ國民が如何なる地位にあつたかを想起し互讓と國際の基礎に立つ平和の代りに出現したヴエルサイユ體制はドイツ並びに國家を永久に奴隷の地位にまで低下せしめ政治的に無防備の狀態に陷れ、あらゆる政治的權利を剝奪したのみならず經濟的にも破滅狀態に突落したのであつたと述べ、特にヴエルサイユ體制の重壓に依るドイツの經濟破局が如何に甚だしかつたかを強調した、次で總統はナチス政權十年間の歷史につき左の通り述べた

「ドイツ國民に對する最初の宣言において余は國力發展のため國民を統一し全力を擧げて內部の狂氣の逆流と外部からの壓迫に對しドイツ國民を護る決意を表明した、爾來十年間の國家社會主義政權の業績を回顧するに余は多くの同志の協力を得て年々段々ドイツ國家の內外における建設に不斷の努力を傾注して來たと斷言して憚らない、失業者は救濟を求めるまでもなく悉く仕事を與へられ

ドイツ農民の土地を奪はうとするユダヤ人の策謀は粉碎され耕作地は確保された、國家並びに地方自治體の財政は確立された、一方ナチスの分野についていへば若し十年前ヒンデンブルグ元帥を通じて國家社會主義に權力を付與されなかつたならばドイツ並びに歐洲の運命が如何になつたかは今日ナチス政權十周年に當りその目にも明かであらう

次でヒ總統は歐洲文明に對するボルシエヴイズムの脅威を說いて曰く

ドイツ再建の第一の目的は當時ボルシエヴイズムが歐洲攻略の野望を抱き遂に巨大な規模において遂行しつつあつた組織的再軍備に對抗するにあつた、一九四一年獨ソ開戰以來歐洲の大半がドイツの傘下に集まり東方からの脅威を防いでゐるのはドイツが今日世界の將來を決するこの戰爭の指導者として必要なすべての政治的、精神的、物質的前提條件を完成する事を知つてゐたからこそである、今日ドイツ國民、ドイツ並びに盟邦にとつては勝利か、然らずんば文明大陸中最古の歐洲をして東方から押寄せるボルシエヴイズムの波の中に沒せしめるか二途の內一あるのみだ

ナチス運動とそはこの有史以來最大の脅威からドイツのみならず全歐洲を成功的に救ふ可能性を與へんとする神の意思の表現に外ならぬ、余はこの國民がドイツと盟邦の勝利に終ることを確信する

次でヒ總統はナチス政權の樹立並びに現在の戰爭に協力するあらゆる人々に感謝の意を表明した後如何なる困難が出現しやうとも最後の勝利まで戰ひ拔く決意を次の通り披歷した

一九一四年と同じ時に行つた現在の戰爭はドイツ國民の存亡を決するであらう、そして唯全能の神のみが正しい審判者である、われ〳〵の仕事は自己の義務を盡し以て神の與へ給うた優勝劣敗の原理に從ひ全世界の解放者として神の前に耐へるにある、斯くて戰死者の尊き犧牲の中から新しい生命が生れ、町や村の廢墟の中に新しい秩序が現はれ、われ〳〵はその出現を信じての[illegible]

[illegible]

歐洲諸國の[illegible]

[illegible]「勝利的平和の日」として將來歷史に現はれるであらう

自作農政策積極化
農地制度改革は漸進
農相言明

【東京電話】[illegible]

[illegible]

商工經濟中央機關
經濟諸團體統合一元化

【東京電話】[illegible]

[illegible]

けふの兩院

貴族院 本會議午前十時開會、[illegible]

衆議院 本會議午後一時開會、[illegible]

驅逐艦四隻擊沈破
伊空軍、敵護送船團猛擊

【ローマ三十日發同盟】イタリア軍司令部發表

[illegible]

獨海軍最高司令官更迭

【ベルリン三十日發同盟】[illegible]

運航實務者班設置要綱決定

【東京電話】[illegible]

米貨物船四隻擊沈

【リスボン二十九日發同盟】[illegible]

佛印大使府機構擴大强化か

【東京電話】[illegible]

伊國民總動員令を强化

【ローマ三十日發同盟】[illegible]

山形公使以下をチリー政府軟禁

【ブエノスアイレス三十日發同盟】[illegible]

停止價格超過販賣例外許可權限統一

【東京電話】[illegible]

人事

[illegible]

中風なら此の良藥で

中風はまことにお氣の毒な病氣ですが[illegible]

氣管支ぜんそく專門！
頓服で効く中毒副作用なき散藥なり。
ひろ喘息藥
全國藥店にあり
本舖・東京市下谷區[illegible]

工學博士 田邊平學著
空と國　防空見學・歐米紀行
新刊
近刊・書新築建
ナチス獨逸の建築…岸田日出刀
規格家具…劍持勇
住宅の平面計畫…市浦健
相模書房

文學博士 原隨園著
ギリシア史研究 第二　價五円 〒三〇
マイネツケ 中山治一譯
史學叢書 歷史主義の立場　價二・〇〇 〒二〇
徐石麟 青木勝三郎譯
支那叢書 花傭月令　價一・八〇 〒二〇
東京・神田・錦町三
創元社
振替東京5651

上田貞次郎博士記念論文集 全四卷
故博士追悼のため門下生及び知友の學界權威が夫々專門分野につき執筆せられた最新の論說集であつて期せずして現代日本經濟學界の一大縮圖となつた絢爛の內容頗る好評である、第一卷忽ち賣切のところ再版出來・第二卷出來。
第一卷 再版出來 經營經濟の諸問題
第二卷 新刊出來 經濟の歷史と理論
第三卷 二月發行 統制經濟と中小工業
第四卷 三月發行 人口及東亞經濟の研究
科學主義工業社

新刊
一日の保健生活の營み方
厚生省豫防局技師（醫博）南崎雄七著
病は生活の敵だ！我々は保健生活を知らずに日を暮してはいないか、本書は抽象的な健康論ではなく一日の生活を如何にせば病氣に罹らぬか、又健康をより健全にするか平易な方法を一般國民に敎ふる書
重版 結婚の眞實　堀秀彥著
重版出來 女の心情　吉尾なつ子著
重版出來 智慧の言葉　堀秀彥譯編
教材社

育英魂芝山巖に燦たり！

本島が帝國の版圖に入りし[illegible]を仰ぎてここに四十有八星霜、今や内外一行政の一體の下におかれて[illegible]內地の一部と見なされる迄に躍進するに至つた、この飛躍は内地一如の有難き聖旨によるものではあるが文化、産業を始め各部門に亘つて今日の基礎をかくまでに築き上げたのは教育の力に負ふ所が大きい、しかして本島教育は實に芝山巖に胚胎し、芝山巖頭を紅き鮮血で染めたわが教育者六氏の殉職した事實——この時こそは本島教育の基礎を築いたといふべく爾來本島の教育者はこの殉難の精神を體得し心から心に受けつぎ、[illegible]一死を以て國家の興隆に貢献する教育道に[illegible]して來たのである、その血のにじむやうな努力は芝山巖精神の[illegible]となつてよく[illegible]ここに見る花が咲き、實を結んでこの[illegible]の偉大な成長を見るに至つたものである、[illegible]いよいよ今年から[illegible]される昭和十八年度は本島における教育界の[illegible]一大進展が期せられる年なのである、大東亞戰爭下、南方共榮圈建設、八紘一宇の大理想實現に邁進しつつある勇士の血の[illegible]と共に島内の皇化に[illegible]した先人教育者の[illegible]、ここに[illegible]れた六氏先生を始め先人教育者の功勞を讃仰してその英魂を祀ると共に本島教育界[illegible]たる芝山巖精神を仰ぎつついよいよ國家[illegible]の要請に[illegible]して力強き邁進を遂げんことを誓つて止まない、[illegible]からはいづこの土となりぬともみたまはここにとどまりたまへ、永遠ここにしづまりたまへ、けふ二月一日芝山巖祠の年次祭典が執行されるに際り本紙は[illegible]永遠にここ芝山巖に[illegible]まりまする亡き教育者の英靈へ[illegible]んで本特輯を捧げることとする

あゝ斃れて後やむ

この遺烈千載に傳へん

郷土匪賊、猖獗の[illegible]を踏み越え、[illegible]切り拓き、本島教育史の上に一大金字塔を打ち建てた先覺者の苦難の生涯こそ、古今東西をつらぬいて比類なき育英魂の光芒である、されば芝山巖の[illegible]神はその一際の光を八紘一宇の大精神にまで磨いて、大東亞戰爭下、共榮のゆるぎなき基礎を固めしめる底力ともなつたのだ——往昔を語る西村文教局長の言、切々として[illegible]を衝くまた眞なる哉

西村文教局長

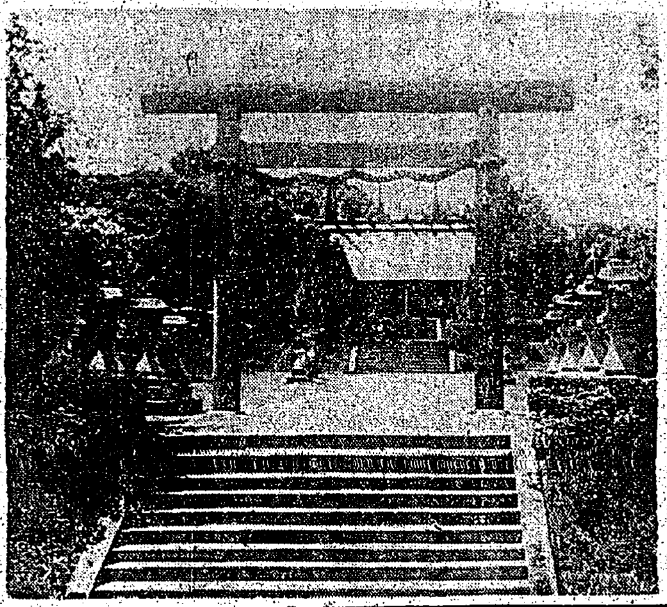
芝山巖精神 といへば、本島の教育者には何等の說明を加へないで、直ちに心頭[illegible]され、更に神聖荘嚴さを以て迫り來る言葉である、それほど、この精神は現下[illegible]の教育を烈々たる火の如く、內部から燃え上らしめる原動力となつてゐる、加ふるに、昨年文部省に於て選定された國民學校の教科書に教育者の修練といふ課を設け、六氏殉職の顛末を吉田松陰先生の事蹟と共に掲げて、教育者たらんとする者の範としたので、今や芝山巖精神は教育道に精進する者の目標として、全國的に高く[illegible]されることとなつた、この意味に於て本日の祭典を機會に、芝山巖精神に就き多少の解說を試みて教育者自戒の資料とし、かねて一般社會の注意を喚起するは、決戰下、師道昂揚が叫ばれる今日、頗る無意義なことではないと信ずる、いふまでもなく、芝山巖精神は抽象的の概念でなく、自ら發生し如實に活躍してゐる精神であるから、これを鮮明ならしめるには、ありのままの事實に接することが最も

妥當な措置 である、芝山巖精神發生の手近な原因はといへば、第一に總督府初代の學務部長伊澤修二先生が、[illegible]の根本を一視同仁の聖旨により、本島人に本國精神を涵養せしめる、即ち國語を與へるといふ點に置いたことにある、勿論この事は、樺山總督の御許しを得て、總督府の大方針となつてゐたのである、第二は[illegible]早々治安未だ整はず[illegible]所に出沒するといふ時代に、學務部を芝山巖に置き、[illegible]を開いたことである、この時伊澤部長や部員は既に死を覺悟してゐたのである、第三は六氏の[illegible]である、即ち六氏は遭難前から身を[illegible]に捧げる堅い決心を以て居り、[illegible]芝山巖でこの[illegible]に對する教育精神を[illegible]したのである、[illegible]六氏の遺物[illegible]などによつて十分窺ふことが出來る、特に次の事件は六氏の心掛を如實に物語る一節である、芝山巖に襲來して六氏を殺した土匪は、明治二十八年十二月三十一日臺北一圓に蜂起した匪賊の一部であつたが、六氏はその前夜山を下り、士林街潘光松の宅に立ち寄つた節[illegible]がある、その時光松は匪徒蜂起[illegible]があるから、先生方はこの地を去られたがよいと勸告した、ところが[illegible]六氏は「吾々は平生生徒に向つて大義名分を諭して良民にしようとしてゐる、然るに今匪賊が來るからといつて逃げるとは何事であるか止つて彼等を說諭するのが我等の役目である、我等は國のためには生命を惜まぬと常にいつてゐる、それに今逃げたとあつては、我等教育者の本分が相立たぬ、決して心配しないでくれ、土匪が來たら道理を說いて服せしめる、若し成らずんば斃れて止むのみである」といつて、悠々山をさして歸つていつた、越えて一月一日、六氏は總督府へ年賀に出頭するため打ち揃つて下山し、基隆河畔まで行つたが渡船がない、そしてこれは土匪蜂起のため[illegible]が[illegible]したのであるといふ事を聞き、芝山巖に歸らうとして途中、士林街の[illegible]派出所に立寄つた、その時、[illegible]官は切に避難を勸めたが、六氏は職務と[illegible]を捨て去ることは出來ないといつて聞き入れず、そのまま芝山巖に歸つたのである。

土匪が襲來 したので、六氏は協議の上、決然として山を下り、平生の心掛そのままの行動をして[illegible]と戰つたのである、六氏殉職の報が當時の人心を感動させたことはいふまでもない、殊に伊澤先生は當時講習員募集のため上京中であつたが、[illegible]を聞き[illegible]したといふことである、やがてその年四月[illegible]四十七名並に教官等を引率して歸臺し、[illegible]以來荒廢してゐた芝山巖へ又復歸していつたのであるが、恐らく六氏の英靈を生かすため、心中深く期するところがあつたのであらう、それから三箇月の講習を終り、七月一日いよいよ卒業式といふ日、先づ新に建てた六氏の碑前で祭典を行つたのであるが、その時先生は一同の者を墓前に向けるため[illegible]に向つて立つたのであるが、[illegible]第一語も發することが出來ない、そこで一度除いた帽をまた[illegible]いて墓前に供へ、講習員の方へ向き直りやがてきつとなつて一場の訓示を與へた、それは[illegible]でも、[illegible]そのもの、烈々火を吐く底のものであつた、要は[illegible]六氏の心を心とし、本島人教育に[illegible]せよ

斃れて止む 覺悟でやれといふことであつた、この[illegible]

[illegible]アジア十億の[illegible]を皇化すると[illegible]一死以て國家の要請に[illegible]するといふ芝山巖精神こそは[illegible]大東亞共榮圈建設の[illegible]たることを信じて疑はないのである



寫眞は育英の先賢を祠る現在の芝山巖祠

純忠〝菊池の流〟酌む

武烈・父子相傳の典型的肥後魂

本島敎育の先驅者 平井數馬氏の遺勳

本島教育創始の礎石として明治二十九年一月同志五名と共に土匪の毒刃に斃れて殉職しその芳蹟の遺烈は芝山巖神社として全島教育者の神と仰がれ、且つ島民の崇敬を集めると共に本島教育界に偉大なる力を與へてゐる六士先生の美談は今や師道昂揚の象徵として師範教育の修身教科書に收められてゐるがこの烈士の一人平井數馬氏の遺族は現在熊本縣出身としか判明せず總督府ではかつて遺族の有無に人を熊本に派し[illegible]せしめたところ遂に判明せずに終つてゐたところ期せずも今年の祭典を前にその遺族が今尚熊本縣下に現存してゐることが發見されその[illegible]一切の消息が判明するに至つた

[illegible]は四十八年前に遡る——輝く南方共榮圈進出の先驅をなし四十有八年前新領土臺灣で教育の犠牲となつた平井數馬氏は熊本縣下[illegible]の士族平井[illegible]の六男として生れた、祖先は[illegible]城主[illegible]守と名乘つた名家である、數馬氏は父の[illegible]に[illegible]つて手取小學校に入り高等小學を[illegible]て[illegible]に入つたが、[illegible]水泳共に[illegible]たる所から何をやらしても[illegible]

[illegible]として[illegible]之助（山口縣）中島長吉（[illegible]）井原順之助（山口縣）關口長太郎（[illegible]）桂金太郎（東京府）[illegible]の同志中最年少者として[illegible]近郊芝山巖に[illegible]し本島教育の[illegible]を[illegible]くべく努力中土匪蜂起のため六名[illegible]

寫眞は後列右から平井數馬、井原順之助、揖取道明、中島長吉、前列右から關口長太郎、桂金太郎の亡き六氏

熱情溢るゝ愛國者

叔父を語る平井實氏

[illegible]發見された遺族とは——數馬氏の甥平井實氏は熊本市[illegible]町に居住し[illegible]「松千代」を[illegible]してゐる[illegible]平井[illegible]氏について語る[illegible]

[illegible]いました、しかし頭が[illegible]位で[illegible]し私が[illegible]に[illegible]と思へばこそんな所にかまうてみられぬではありませんか」と云つたといふ話です、[illegible]

芳勳萬世に薫る

不動の芝山巖精神

新に合祠さる三十三柱

明治二十九年一月[illegible]せる[illegible]六氏の英靈を祀る祭典は[illegible]の如く二月一日本島[illegible]の下に由緒深き芝山巖に於て盛大に施行せらる。六氏の遺烈は[illegible]教育者[illegible]に合祀し[illegible]久木田休助氏外三十二氏も[illegible]して[illegible]に[illegible]これら[illegible]の功勞の[illegible]に新に合祀せられし三十三氏の[illegible]

けふぞ輝く祭典

英魂永久に安かれ

本島教育發祥の地たる芝山巖に於て[illegible]六氏を始め[illegible]き教育者の英靈をいつきまつる芝山巖祠祭典は三十三柱を新に合祀してけふ二月一日午前十時から[illegible]總督主祭の下に嚴かに執行される、長谷川總督を始め[illegible]

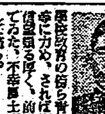
故元臺北第一師範學校教諭 從七位勳七等 久木田休助氏

故臺北第一中學校教諭 從七位 福家一男氏

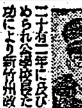
矢口良忠氏

川原修氏

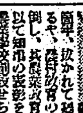
會江淮氏



正八位勳八等 新村國元氏



從七位勳八等 麻生寛一氏



吉村龜松氏

正八位陸軍少尉 頴川海兵氏

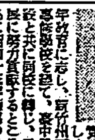
正八位勳八等 吳永査氏

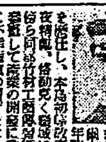
陸軍上等兵 佐藤正士氏

正八位勳八等 東原盈藏氏

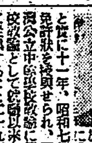
正七位勳八等 平原宗太郎氏

西山茂俊氏





若松武二氏



勳八等 中村操氏

從七位勳八等 田村富士雄氏

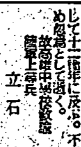
森田豐得氏

陸軍上等兵 梶本孝治氏

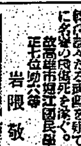
正七位勳六等 稅所清治氏

從七位勳七等 村上仙八氏

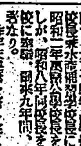
正八位勳八等 仲嶺正能氏



正八位勳八等 宮里照氏



陸軍上等兵 立石稔氏



正七位勳六等 岩隈敬造氏

勳八等 小澤發吉氏

岡部久良男氏

從七位勳七等 新納時彦氏

中谷健一氏

正七位勳八等 鄧丸力氏

從七位勳八等 鈴木傳之助氏

正八位勳八等 太田不二雄氏

從七位勳八等 坂本茂氏

鐵筋コンクリート煙突
工場建築
專門請負
名古屋コンクリート株式會社
臺灣出張所
株式會社 山下商店工事部
電話二三七〇・三五五〇
臺北市本町二丁目

私のソバカス取つた話！
[illegible]日本[illegible]研究所へハガキでお申込みあれば[illegible]無代進呈します。

淋疾に劃期的新劑の出現
優能 ユーロン 「高有」
ユーロンは化學療法劑中最高の分子規格を有し內服のみにより淋菌を完全に撲滅する故に決定的治淋劑にして全治率[illegible]のみならず凡ゆる化膿性疾患に應用して卓効を奏す
適應症 急・慢性淋疾、丹毒、敗血症、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、[illegible]症、化膿性疾患
Banyu 萬有製藥株式會社

乳兒に粉末あり
WAKAMOTO
錠劑 わかもと
肥えさせ 人工榮養兒
消化力を昂めて榮養失調恢復を……
一日 二十五日分 一圓六十錢

白い強い歯をまもる
中性 資生堂歯磨
二十一セン
資生堂 東京 銀座

子供のビタミンAD劑
糖衣ヒオスゼリー
一粒のビタミン含有量 A五〇〇〇國際單位 D一〇〇〇國際單位
學校ですゝめてゐる榮養劑で、A.D.劑の價値を決定するA Dの含有量を、國際單位で明記した信用ある製劑です。
お菓子のやうに美味しいのでどんな藥嫌ひなお子様でもきつと喜んで召上ります。
定價 八五粒入 二圓 一八〇粒入 四圓 三八〇粒入 八圓
東京市下谷區竹町一一一 葛原工業所藥品部

鮮血で染めた激闘の地 今は平和な田園風景

奉公團滯比一年の歸還報告

銃なき兵隊

砲も彈も銃もなき兵隊――臺灣特設勞務奉公團第四回隊は比島出征一年、我々の武勲を打ち立てゝ[illegible]も多き感慨から[illegible]い故郷へ晴れて歸還した、思へばあの出發そして[illegible]だつたバタアン總攻撃に從事し[illegible]として[illegible]バタアンの密林を自からの血で拓く大東亞の礎石として働つたこの間戰友の[illegible]ものすらあるのだ、いま生きて再び祖國の大地を踏みしめた感激の[illegible]いかばかりのものがあるだらうか、以下は本隊長が綴つた滯比一年の斷片報告である

［還らぬ戰友］　バタアン作戰に從軍を許された我々の喜びは[illegible]アメリカ兵の一人や二人を叩き斬る意氣にみちてその絕頂に達した、口にこそ出さなかつたが胸中深く誰れもが生還を期さなかつたのだ、我々は生きて再び祖國の大地を踏みしめることが出來た、然し戰友のある者はいまも遠くバタアンの密野に東亞の守護神として永遠の眠りについてゐるのだ[illegible]出身の[illegible]君もその若い一人である、我々は[illegible]を許ると共に[illegible]決意を新たにしたのだ、再び[illegible]けふもまたヂリヂリと照りつけて[illegible]ることだらう

［收穫の喜び］　バタアン攻略後は[illegible]の跡に[illegible]を造り[illegible]にその日その日を過した[illegible]此農園で出來る野菜は皆んな兵隊さんに喰べていたゞくものばかりだ、我々はそれだけに[illegible]バタアン總攻[illegible]毎日[illegible]の收穫があつた、黑い大地の中から眞白い大根を[illegible]時の喜びはいまでも[illegible]、この中で働いてゐる[illegible]平和なそして明るい田園風景である、新生比島の將來を約束する

［南瓜と乙女］　大根、南瓜、木瓜、バナナ等[illegible]この農園の收穫は[illegible]兵隊さんは野菜が欲しいと[illegible]トラックに積んで[illegible]に送り屆けるのだ、この時きまつて[illegible]附近に住んでゐる比島娘が「ワタクシデテツダイマセウ」と片言の日本語で我々に[illegible]手傳に來て呉れた、喜々として働く彼女達の顏には東亞本來の姿に還つた[illegible]がみちてゐた、それだけに其積み込み作業は實に樂しいものだつた、トラックはたちまちに[illegible]瓜や大根や野菜類でギッチリつまり屋上にまであふれる[illegible]つた、そしてこの野菜がどんなに兵隊さんから感謝の的となつたことか……

【寫眞は（上）故宮君の慰靈に參る隊員（中）大根の收穫に喜ぶ隊員（下）比島娘も喜々と手傳ふ收穫の積み込み】

ス市獨軍勇戰奮闘

殺到する赤軍を撃退

【ベルリン三十日發同盟】獨軍部では三十日スターリングラードに於ける獨第六軍の勇戰その他東部戰線各地區の戰況を次の通り述べた

一、最後の戰闘は十周年の三十日スターリングラードの廢墟の上には依然ハーケンクロイツ旗が翻つてゐる、勇しい兵員と武器に[illegible]よる赤軍の攻撃にも[illegible]ラード防衛軍將兵の士氣を[illegible]ることが出來ず獨軍は依然[illegible]る赤軍を迎へて激戰展開中である、彼等の陣地は三十日を期して[illegible]を唱ずスターリングラード要塞せよとのスターリン首相の言明も挫折せしめた、赤軍は二十九日も強力な[illegible]スターリングラードの南北陣地に對し[illegible]攻撃を加へて來たが獨軍はこれを完全に撃退し[illegible]外に多大の損害を與へた

一、西部コーカサスに於ける赤軍の攻撃はこの數日間の損害のため極めて[illegible]更に[illegible]の上昇は道路を泥濘と化しこの[illegible]する事が出來なかつた、クバン[illegible]マヌイチ南方の高原地帶では獨軍は敵の小規模な攻撃を撃退した[illegible]移動を續けた、又獨空軍兵力は大攻勢を企圖して移動中の赤軍を捕捉[illegible]

一、赤軍冬季反攻の中心をなすドン河方面では[illegible]受けた[illegible]部隊は十五臺を擊破した、同方面に於ける敵の損害は步兵、砲兵、戰車部隊に於て甚大しかつた、更に獨軍は巧妙な作戰により敵の大部隊を包圍し殲滅しヌマヌイチ運河を渡つて前進中の敵小部隊は殆ど退路を切斷され二十九日降伏した

皇軍奮戰の跡偲び 新東亞の建設誓ふ

馬來半島攻略一周年記念

【昭南三十一日發同盟】馬來の[illegible]ライ半島攻略一周年記念日の三十一日、ジョホール・バルは全市の[illegible]しが[illegible]盛大に擧行され一年前の[illegible]昭南島[illegible]へ[illegible]を偲ぶ[illegible]の[illegible]つた、この日早朝より各所に[illegible]する[illegible]が引きも切らず[illegible]一方ジョホール・バル大和[illegible]はジョホール[illegible]「マライ半島攻略一周年記念[illegible]が[illegible]マライ人の各代表が交々立つて大東亞[illegible]一年は早いものだ、[illegible]ジョホール水道を見、昭南に通ずる[illegible]

[illegible]

賴母し新興タイ海軍

[illegible]づけ[illegible]日本の[illegible]タイ國の[illegible]國家、國民、名譽、[illegible]はタイ國[illegible]のモットーであり[illegible]である、[illegible]タイ國[illegible]はこのモットーの下、火の[illegible]

軍人援護の模範學校

光榮に輝く百五十校

建國佳節に表彰式

【東京電話】軍事保護院では[illegible]昭和十五年二月「軍人援護[illegible]」を作つて各國民學校の[illegible]小國民に[illegible]する軍人援護[illegible]を[illegible]して來たが、[illegible]この[illegible]の[illegible]に於いて[illegible]表彰することに決定、來る十一日の紀元節を卜して[illegible]表彰式を[illegible]

[illegible]

貧しい學徒に福音

興亞育英金庫制案議會へ

【東京電話】[illegible]を[illegible]され[illegible]優秀な國民子弟の[illegible]に[illegible]救ひの手を差伸べん[illegible]興亞育英金[illegible]國民[illegible]案が[illegible]氏[illegible]永井柳太郎氏に依つて[illegible]として上程の手續がとられる、[illegible]

[illegible]

さあ買はう彈丸切手

けふから本年初の賣出

決戰下第二年目初の彈丸切手が[illegible]二月一日を期し全島各局より一齊に賣出さることになつた、[illegible]

一等	千圓 四本
二等	百圓 二十本
三等	五圓 八百本
四等	二圓 八千本

[illegible]

松山班、分團に獨立

臺北市華壯新團員入團式

臺北市華壯[illegible]三十日午後七時半から[illegible]新團員五十二名の入團式を擧行した、[illegible]

[illegible]

柑橘栽培技術講習會

[illegible]

汕頭 日華親善美術展

楊、郭兩畫伯收入を獻金

[illegible]

戰時荷役の高度增強を祈願

基隆地區港灣運送業會

[illegible]

ソ聯中央アジアに大地震

【モスクワ卅日發同盟】タス通信の報ずる所によればソ聯中央アジア地方に三十日大地震が起つたといはれる、[illegible]

臺北中學校新築校舍落成式

[illegible]

基隆華僑公會二氏獻金

[illegible]

日本人の性格論

プラット、米國民に警告

【ブエノスアイレス二十九日發同盟】元米國陸軍情報部長プラットは最近のニースウイーク誌上に「日本人に就する報告」と題する論文を發表し[illegible]日本人を過少評價するのは間違ひであり[illegible]

[illegible]

活力增進す　聯合ほるもん製劑
コムボルモン
男性用　女性用
日本藥品株行　大阪東區道修町
國際ホルモン研究所

地球鉛筆

第一放送　[illegible]

第二放送　[illegible]

第三放送　[illegible]

今日の映畫演藝

大世界	臺灣劇	芳乃館	芳明館	城南映劇	榮座劇場
23日より2月4日 空中兵團 日本ニュース [illegible]	29日より2月4日 國民の誓 日本ニュース 愛國の花 [illegible]	30日より2日 [illegible]	30日より1日 [illegible]	29日より2月4日 [illegible] 愛國の花 [illegible]	2月1日より10日 日光劇團 [illegible]

台北合同興行會社

今日の東寶國際館 [illegible]

基隆の映畫　基隆劇場　世界館　旭劇場　高砂劇場　[illegible]

感謝奉仕
名譽の家（遺家族）五割引
出征家族（出征）三割引
丸川洗染物店
臺北市大和町二ノ五

會葬御禮　大鶴正滿

活性炭（粉末）
脫色、脫臭
用途　釀造用、油類ノ精製用、ジュース類　其他加工用、各種藥品精製用、觸媒用
製造元　臺中州員林街　**日本活性炭株式會社**
發賣元　臺北市本町　**株式會社盛進商行**

移轉廣告
今般當社城內出張所左記ニ移轉「城內小口扱出張所」ト改稱シ大稻埕小口扱出張所ト共ニ專ラ小口荷物ヲ取扱ヒ致スベク候間此段謹告仕候也
城內小口扱出張所
臺北市大和町四ノ三（元富士タクシー跡）
電話三九六九番
臺北州自動車運輸株式會社

デルビーは慢性胃腸藥

民事、刑事、法律事務
辯護士　**古山春司郎**
事務員　林[illegible]雄
臺北市南門町三ノ二三

世界馳名
九一四內服新藥
梅毒風濕骨痛リウマチス特効
台北市永樂町神農氏大藥房

荆妻雅枝儀出產の爲入院中の處一月三十日午後一時二十五分永眠仕候間此段謹告仕候
追而二月一日午後三時より當官舍に於て告別式を相營可申候尚御供物等は御辭退申上候
臺北市[illegible]
樋口敬七郎

荆妻龍子儀帝大附屬病院に於て加療中の處藥石效無く一月三十一日正午死去致候に付生前の御交誼を謝し茲に謹告仕候
[illegible]
夫　松田宗雄
男　宗和
女　宗久
　　幸子
親戚　德原幸兵衛
　　　平山益男
友人代　近藤勝次郎
　　　　江口清

荆妻平野えい子儀病氣加療中ノ處一月三十一日午前一時永眠仕候間生前ノ御厚情ヲ深謝シ此段御通知ニ代ヘ謹告仕候
[illegible]
男　平野又三郎
親戚代　平野文則
[illegible]
友人代　江口榮一　鈴木正夫　齋藤豊吉　芝崎秀蔵　小森一郎　古山司治　木俣春近　松井繁太郎　淺賀芳三郎　浦西岡治郎

第三十一回決算公告
[illegible]
高砂麥酒株式會社

第四十四回決算公告
[illegible]
臺灣炭業株式會社

臺南工業化進展す

安平港改修計畫も樹立

【臺南電話】[illegible]

注目、佛の對支態度

佛大使、國府外交部長と會談

【ハノイ三十日發同盟】[illegible]

社會教育に力瘤

新鮮味溢るゝ澎湖廳豫算

[illegible]

春蒔蔬菜に空閑地を利用

保甲婦女團市民に呼かく

【澎湖電話】[illegible]

擧郡赤誠の獻金

曉天動員て各戶が據出

[illegible]

白衣勇士らを慰問

臺中高女が藝能發表會

【臺中電話】[illegible]

明朗臺灣一家建設へ

斷乎臺灣語使用者を排擊せよ

第二年の新春

[illegible]

國語を常用だ

[illegible]

無駄にしてゐる衣服類の更生

染替も色褪せて見苦しいものだけに

吉見まつよ先生

[illegible]

古着　[illegible]

近頃　[illegible]

再度　[illegible]

防火用水の防腐法

防火用水の防腐は、昨年のデング熱流行とも關係があつたことゝて大いに注意しなければならないが[illegible]

節電に協力しませう

◇二割も違ふ笠の汚れ◇

[illegible]

× × ×

[illegible]

私の手帳

野菜の二分間煮

燃料と榮養の得

[illegible]

（三木治三氏）

"見よこの慘虐を"

敵愾心昂揚作品入選決る

【臺中電話】[illegible]

[illegible]

彰化銀行株主總會

【臺中電話】[illegible]

臺灣澱粉配給組合通常總會

[illegible]

先づ肥料

榊原郡守の歸

[illegible]

大島居破壞

見事に貫徹

[illegible]

大いなる祭 (53)

中野實作
三芳悌吉畫

第二の出發

[illegible]

モーターサイレン
各種サイレン
株式會社精工社製作所
營業所 東京市芝區新橋
電話芝(43)一〇八一番・三八一八番

強力體能調整劑
ホルモン劑
ミアクトン
病弱者に用ひて頓に元氣を增强す。殊に胃酸過多症、婦人更年期障害、精氣缺落、心臟性喘息等に特効
（注射液・錠劑）
東京市京橋區京橋一丁目
ラヂウム製藥株式會社

七分搗の御飯に是非…
やまなのごま鹽

明るい印刷
精美堂

ダンダンは風の妙藥
大阪市東區道修町
大木合名會社
同支店

萬媒
[illegible]

小內兒科（入院應需）天野醫院　天野一男
耳鼻咽喉科　天野醫院　本町一丁目八番地　電話四四〇〇番
耳鼻咽喉科（病室完備）藏田醫院　京町一丁目　藏田恒人
產婦人科（病室完備）福田醫院　大和町　電話六九五四番
皮膚科泌尿器科（病室完備）千本醫院　京町一ノ五　電話六〇八壹番　千本信夫
內科（入院應需）秋山內科醫院　京町一丁目　電話五九九八番
耳鼻咽喉科　菅村醫院　電話八〇七一番
齒科　青木齒科醫院　榮町三丁目　電話六七九五番
皮膚科泌尿器科（病室完備）三般丸醫院　大和町一丁目一番地
眼科（入院應需）塚原眼科醫院　表町二ノ八（鐵道ホテル前）　電話四三四三番
外科（病室完備）菅沼醫院　本町三丁目一番地　電話二九五四番
外科（病室完備）菅野醫院　本町三丁目　電話二五〇六番　菅野尚夫
眼科（入院應需）牟田口醫院　臺北市京町一丁目　電話七九六七番
產婦人科（入院應需）鶴田醫院　京町三丁目　電話四一九七番
外皮膚科泌尿器科　一番ケ瀬醫院　本町一丁目五番地　電話二七八九番
小兒科（入院應需）武藤醫院　表町一丁目三（中央通り）　電話四八五九番
小兒科　石井小兒科醫院　新起町一丁目　石井
小內兒科　富田醫院　臺北市新起町一ノ七　電話二六五〇番
小兒科（病室完備入院應需）信生堂醫院　末廣町二丁目三　電話五五五六番
齒科　平川齒科醫院　電話四〇八七番
耳鼻咽喉科（入院應需）宮島醫院　本町二ノ九　電話五六六四番
耳鼻咽喉科（入院應需）早田醫院　本町一丁目一番地　電話四四四五番
內眼科　森醫院　新起町三丁目五五番地

ね小便なら
これで治る！
熊本市本庄町中通
慈天院

ポレオン
中耳炎
扁桃腺炎
蓄膿症に
二萎ズルホンアミド純正劑
NISSEN
"日染"錠
一〇〇錠

A-O
結核免疫元
結核檢診
適應症
虛弱體質、潜伏結核、瘰癧、肺尖加答兒、肺門浸潤、肺結核初期、結核疑症、喘息、肋膜炎、腹膜炎、腺結核、外科結核、其他の結核性疾患、バセドウ氏病甲狀腺腫
製造元　有馬研究所
販賣元　株式會社須美商店

モートルなどの古線は
本機で立派な
ガス捲電線に
更生出來る
本機の備へ付けにより
ガス捲電線の
悩みは解消
尾道市久保町
全丸電機製作所
電話七八二・九〇一